

YMCC 「サイクリングのリスク管理について」

安全がすべてにおいて優先される

- ◎クラブ活動中の不測の事故を未然に回避する
- ◎被害を最小限に抑える
- ◎自分の身は自分で守る（あなた任せではない）

事故が起きてしまったら… 基本的対応

- ① 冷静になる
- ② 自分自身の安全を確保する（二次災害の防止）
- ③ 被害者以外の人たちの安全を確保する（二次災害の防止）
- ④ 被害者の救護を行う（救急車の手配、応急処置）
- ⑤ 重大事故の場合、警察への連絡
- ⑥ 事故の記録を取る（携帯電話の写真、日時・場所、事故の状況と程度など）
- ⑦ 保険会社へ連絡
- ⑧ 負傷者への誠意をもった対応

「119番」のかけかた

救急車をお願いします

事故発生場所 例：横浜市西区鶴屋町1丁目交差点の路上です 郵便局の前です

事故発生時間

負傷者の氏名・年齢・性別

負傷者の容態 例：転倒して右腕と右脚から出血しています 意識がはっきりしません

通報者の名前・電話番号 ※電話番号はすぐに言えるようにしておきましょう

保険の種類 「リスク管理は保険に始まり保険に終わる」

1) 傷害保険

本人が負傷（急激かつ偶然な外来の事故による）をしたときの補償です

入院、通院、後遺障害、死亡などの備えになります

契約内容は保険会社により異なります、ご自身でよく確認してください

2) 賠償責任保険

偶然の事故により、他人に損害を与えた場合、法律上の賠償責任を負うことによる損害を補償します

- ・対人賠償 他人にけがをさせたり死亡させた場合
- ・対物賠償 他人のものを壊した場合